

23 横堀小学校エコクラブ(大仙市) 小学生

本校では、「ふるさとの魅力に気付く体験活動」を重視しています。

学区内を探検して、地域の「すてき」を探したり、一人一鉢でお花を育てたりしています。それから、自分たちで栽培した野菜を使ってのお菓子作りもしました。

田んぼの学習では、田植え、稲刈りに加えて、生き物調査もし、鮎の稚魚を見つけました。また、田んぼで泥んこ遊びもしました。

様々な活動を通して、ふるさとの環境を守っていこうという気持ちが育ってきています。



田んぼの生き物探し



田んぼで運動会

24 中仙小学校(大仙市) 小学生

本校では、総合的な学習の時間に、SDGsに関連した取組を行っています。

4年生は、菜のはなタイムの学習を通して、障害やお年寄りについて実感を伴って学ぶことができました。

5年生は、きのご栽培体験を通して、自然への感謝と生育の環境などについて知ることができました。

6年生は、地域の桜を守るための活動を行い、歴史と伝統を大切にすることで、ふるさとに対する思いにふれました。

また、SDGs委員会の取組として、募金活動や校内環境の美化、校内放送でのクイズを通してSDGsの周知活動を行っています。



4年 菜のはなタイム



5年 きのご栽培



6年 つる切り

25 秋田大学教育文化学部附属中学校 国際情報科学部(秋田市) 中学生

本校では、「生分解性プラスチック」や「コンポスト」「ペーパーフルーツ」「ペットボトルから電気を作る」など、SDGsに貢献できるような実験を多く行っています。「生分解性プラスチック」の実験では、牛乳などに多く含まれるカゼインという物質を使って、自然に優しいプラスチックを作っています。「ペーパーフルーツ」の実験では、捨てられてしまうフルーツの皮を再利用し、紙を作っています。

これらの実験から、SDGsに貢献することの重要性を知りました。



活動の様子



普段の研究の様子

26 秋田南高等学校中部自然科学部(秋田市) 中学生

自然科学部は5つの班がそれぞれテーマを決めて研究しています。私たちの班は「バイオエタノール」という燃料があることを知り、自分たちで作ってみました。

本校の敷地内の植物を刻んで水と混ぜ、1か月かけて発酵させます。できたものを蒸留して濃度を測定すると、イヌムギで11%、ヒメリンゴの果実で16%のエタノールができました。バイオエタノールをつくるには、かなりの時間が必要なことや、たくさんの植物からできるエタノールの量は少ないことがわかりました。

これからも自然を調べる活動を大切にしていきたいと思います。



濃度の測定



ガス抜きをこまめに行い発酵させる

27 男鹿東中学校(男鹿市) 中学生

本校では、毎年「地域貢献活動」と題して、地域の方々とともに海岸や公園などの清掃活動を行っています。地域の一員として、自分たちの手でより良い地域を創り上げていこうという活動です。

今年度は、「自分たちできれいにできたことがうれしかった。日頃から地域に貢献したい」「これからはもっとごみを分別したり、自分から積極的にごみを拾ったりしていきたい」などの感想が聞かれました。



海岸のクリーンアップ



28 天王南中学校(潟上市) 中学生

環境教育支援校

本校では7月に全校でボランティア活動を行いました。

1年生は、通学路のごみ拾い活動をしました。

2年生は、地域の方々と交流しながら学区内の公民館や集会所の環境整備をしました。

3年生は、学区内の海水浴場でもある出戸浜海岸でごみ拾い活動を行いました。

海岸に漂着、回収した大量のごみを通して、秋田や日本だけでなく世界的にも課題となっている海洋汚染やごみ問題について考えるきっかけになりました。



↑公民館や集会所の環境整備↓



海岸のごみ拾い活動

29 湯沢南中学校自然科学部(湯沢市) 中学生

環境教育支援校

今年の緑のカーテンは、スイートソルガムという新しい植物に挑戦しました。この植物は、東日本大震災で塩害があった地域でも育つ植物として植えられたものです。私たちの地域では、昨年夏の猛暑の影響でサクランボのめしべに胚珠が2つ入るなど、例年ではあり得ないことが起きています。地球温暖化によって、将来の植生が変化してしまうかもしれません。

どのような環境でも育つ植物を探していきたいと思います。



スイートソルガム



高温障害による双子サクランボ

30 稲川中学校(湯沢市) 中学生

環境教育支援校

本校では、4年前から地域の活性化を目指して地元業者と協力して商品開発を行い、販売会等を通して地域の魅力を発信してきました。また、環境を考えたSDGsの取組として、規格外の枝豆やりんご、ねぎ等の地元特産品を加工した商品開発を行っています。

地域の方々、保護者、生徒が一体となり、活動が広がってきています。

さらに全国へ発信できるように、これからも頑張っていきたいと思っています。



ねぎの収穫



りんごの収穫

31 秋田南高等学校自然科学部(秋田市) 高校生

私たち自然科学部は沿岸のマイクロプラスチックについて研究しました。秋田県沿岸を北は米代川河口から、南はにかほ市赤石浜まで合計7か所を調査しました。

海岸のマイクロプラスチックは2023年度に調査した猿田川で取れた合計量よりはるかに多いものでした。

また、海岸で採取したカニ類や貝類の多くの体内からプラスチック繊維が見つかりました。

これからも調査を続けることで、秋田の海の環境を把握していきたいと思っています。



調査の様子



採取したマツバガイ

32 新屋高等学校理科研究部(秋田市) 高校生

環境教育支援校

秋田市大森山動物園塩曳淵において、在来種保全や外来種駆除、外来種であるアメリカザリガニ有効活用に関する研究を継続的に進めています。昨年度に続き、アメリカザリガニ肥料を用いたコマツナ栽培を行い、20g程度で化成肥料と同等の効果を、20g以上で化成肥料以上の効果を確認することができました。

また、アメリカザリガニを疑似餌に加工し、釣果向上につなげる研究にも取り組み始めました!その他、昨年度設置したモグリウムでは水草の成長が伺えたり、水生昆虫も観察できたりと順調に進んでいます!



大きく成長したコマツナ



理科研究部員



活動の様子

33 秋田明徳館環境基礎(秋田市) 高校生

環境教育支援校

本校独自の授業である「環境基礎」においては、世界における環境問題の事例に触れながら国際社会とのつながりを学びつつ、環境と人間生活とのかかわりについて理解を深め、環境問題に主体的に取り組む姿勢を育むことをねらいとしています。

本校は秋田駅の近くに立地していますが、周辺にビル等の建物が増え、緑地が減少しています。そこで、大気汚染の実態調査、ヒートアイランド現象の現状、再生可能エネルギーなど、地域課題に関する授業を実施しました。生徒は主体的に活動し、問題解決能力を身に付けていました。



気温測定



大気汚染の研究

34 天王みどり学園高等部アグリサービス班(湯上市) 高校生

花壇(グリーンガーデン)と畑(グリーンファーム)の両輪で、働く力や地域貢献することの大切さについて学習しました。花壇に、生徒と保護者が共同して(PTA植栽活動)、ピンカとブルーサルビアを定植しました。全県花だんコンクールでは特別優秀賞(秋田県教育長賞)を受賞することができました。畑での活動では、秋田県立大学の櫻井教授から本格的な農業を指導していただきました。

また、オリジナル商品(干し芋、みそ漬け)を作って販売しました。



満開のピンカとアグリサービス班



櫻井教授の指導(さつまいも定植)

35 比内支援学校たかのす校(北秋田市) 混合

毎年、最寄り駅やバス停、地域の介護老人福祉施設の清掃・除草活動や、駅への花のプランター設置活動を行っています。

介護老人福祉施設では感染症対策により直接的な交流はできませんでしたが、高齢者の方々が気持ち良く生活できるようにと心をこめて清掃・除草活動をしました。

「来年もがんばりたい!」という言葉が自然と出てきたのが印象的でした。



清掃や除草活動の様子

36 あきた緑の少年団(秋田市) 混合

10月15日午前に、ニツ井の日本一高い天然秋田杉「きみまち杉」を見に行きました。高さは58m。太くて、堂々としていました。森林管理局の方から、木の高さや太さの測り方などを実際に道具を使って教えてもらいました。

午後、能代木の学校で「宝箱」を作りました。モノ作りではいろいろな道具を使いました。初めて使うモノもありました。出来上がってうれしかったです。宝箱は帰りのバスで、早速おやつ入れに使いました。



アトリオン61mの方がちょっと高い



おやつ入れ

37 ひろおもてエコクラブ(秋田市) 混合

秋田市広面地区を中心に、今年は小学2年生から中学1年生までの計7名で活動しています。主な活動は毎月1回、季節ごとの自然観察、ごみ拾いや環境学習などです。メンバーは少ないですが、様々な学年で交流することで、学校とは違う刺激を受けています。

また、時には地域の専門家の方を講師にお願いし、貴重な様々な体験もあります。

活動の様子は皆で壁新聞にまとめ、小学校に掲示していただき、地域の方々にも見ていただいています。



水生生物の観察 講師より説明を受ける 壁新聞づくり 完成した新聞を囲んで



38 イオン土崎港チアーズクラブ(秋田市) 混合

私たちは小学1年生～6年生のメンバー3人で活動し、今年は植物について学習しました。

春にはペットボトルを使った水耕栽培でミニトマトの種をまき、成長を観察しました。暑すぎて弱ってしまい大変でしたが、芽が出て、葉が出て・・・と楽しみながら観察ができました。

また種子植物がどのように仲間を増やしていくのか、秋田市の【空とぶ「たね」のひみつ】の出前講座を受け、いろんな種の模型を作って飛ばしてみたのがとても楽しかったです。



ミニトマト観察日記



空とぶ「たね」のひみつ出前講座

39 イオン秋田中央チアーズクラブ(秋田市) 混合

イオン秋田中央チアーズクラブは、小学生・中学生・高校生の計12名で、明るく元気に活動しています。

毎年新入社員との交流は緊張するようです。

今年も恒例のじゅんさい摘み取り体験・白神山地植樹体験に参加しました。

植樹体験では昨年は突然の雨で植えられなかった分、今年は汗だくになりながらたくさん植える事が出来たようです。



新入社員と交流



壁新聞大会



じゅんさい摘み取り体験



40 大曲支援学校(大仙市) 混合

環境教育支援校

5月、全校児童生徒125名と地域の方々24名が参加し、小学部は桂公園周辺、中学部は花火通り商店街周辺、高等部は学校周辺に分かれて清掃活動をしました。

たばこの吸い殻や空き缶、プラスチック破片など、全部で18kgのごみを集めました。生徒からは「ごみの分別が難しかったけれど、きれいになってよかったです」などの感想が聞かれました。

引き続き地域への感謝の気持ちを込めて、清掃活動に取り組んでいきたいと思います。



地域の方と取り組んだ全校クリーンアップ

